

下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）

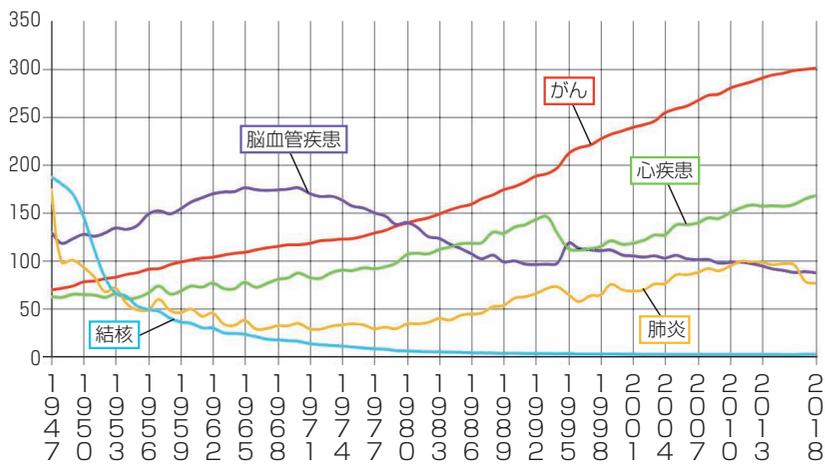
～大腸の検査は受けていますか？～

はじめに

日本人の死因で最も多い病気はがんです。その数は年々増加していると報告されています。2018年のがん死亡数の中で、1位肺がんに次いで、大腸がんは2位でした。

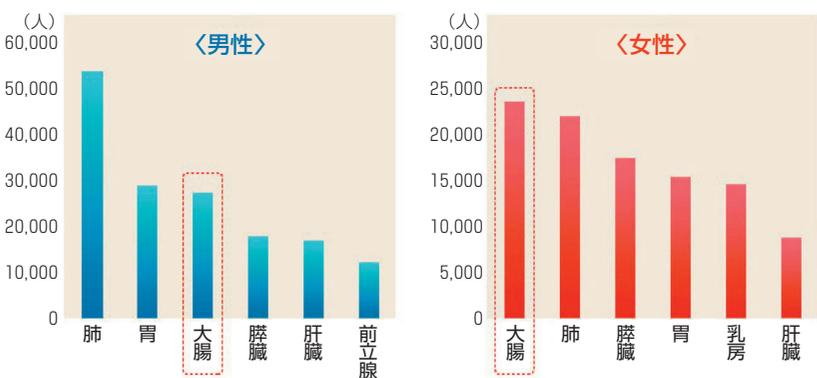
がんは早期発見により治癒率が高まります。発見するためには検査が必要です。「この前の健康診断で便潜血検査が陽性だったけど症状はないから・・・。」とほったらかしにしてはいませんか？今回は大腸がんを見つける下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）についてお話しします。

我が国における粗死亡率の推移（主な死因別）



出典：厚生労働省「2018年人口動態統計（確定数）」
日本対がん協会HPより

臓器別がん死亡者数（2018年）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計』
大腸がん情報サイトHPより

がんは無症状

大腸がんは早期の場合ほとんどが無症状です。お腹は痛くないし、便通は正常、食欲もあり体調が良いにもかかわらず大腸がんが見つかることはよくあるのです。無症状なのに大腸カメラを受けるケースがあります。それはなぜかおわかりでしょうか？実は便潜血検査（※）が陽性だったからです。便潜血が2回のうち1回でも陽性の場合には、大腸がんの検査を受ける必要があります。早く病気を見つけ、適切な治療を受ける必要があるのです。

もちろん、下痢・便秘・腹痛・下血などの症状があるようでしたら、便潜血にこだわらず早めに大腸がんの検査を受けましょう。

※便潜血検査：簡便に大腸がんを発見するために開発された検査で、便に血液が含まれているかどうかを判断します。通常2回法で行われ、採便棒で便の表面をまんべんなくこすりとりて容器に入れて提出します。

大腸カメラはどんな検査？

大腸カメラと聞くと、「痛いのかな、面倒かも、恥ずかしい、時間がない・・・」などの感想をお持ちではないでしょうか？受診までのハードルが高く、確かに仕事の合間にちょっと行ってくる！と気軽にできる検査で

はありません。

カメラで腸の中を観察するために、まず腸の中をきれいにしておく必要があります。そこで、検査前に下剤を飲んでいただきます。たくさん水分をとらないといけないので大変ですが、昔に比べると下剤の味もよくなり飲みやすくなりました。医療機関によっては下剤を工夫しているところもあるので、ご心配であればまずは医療機関へご相談ください。

大腸カメラの検査方法についてです。先端にカメラがついたファイバースコープを肛門から挿入し、大腸全体を観察していきます。検査時間はだいたい15～30分程度です。腸の曲がり角度や空気が入ることで痛みを感じやすい方、また検査に対する不安が強い方には、鎮静剤や鎮痛剤を投与することで、楽に受けていただくこともできます。（人によっては「寝ている間に気持ちよく終わった。」とおっしゃる方もいるほどです。注意：鎮静剤を使用する場合、検査日のご自身による運転は禁止しています）ポリープなどの病変が見つかった場合は、その場で組織を採取し、時に切除します。その際に痛みはありません。なお、小さいポリープはその場で切除できますが、サイズの大きなものは出血などの合併症を予防するため、後日入院して治療を行う場合もあります。

大腸カメラの流れ

参考として私のクリニックでの流れをお伝えします。

1 事前予約

便潜血検査の結果をお持ちの方はご持参ください。症状のある方はまずは診察を受けていただき、検査の予約をお取りいただきます。その際に、下剤の飲み方や検査の流れなどをご説明いたします。便秘の方には事前に便秘薬を処方することもあります。

2 検査前日の食事

腸をきれいにするため、消化のよい食事をするようにしていただきます。ご希望によって、市販の検査食を食べていただくこともできます。

3 検査前日の下剤

夜9時に錠剤の下剤3錠を服用していただきます。（下剤の種類で服用方法が異なる場合もあります）

4 当日の食事とお薬

当日の朝と昼は、お食事を控えていただきます。また、糖尿病のお薬（インシュリンも含む）や血液をサラサラにするお薬についても、当日の朝は服用を控えていただきます。血圧の薬など心疾患のお薬は原則として検査当日の朝も服用していただけますが、予約の際に個別に指示いたします。

5 当日の下剤

自宅にて、検査の5時間前から2Lの下剤（経口腸管洗浄剤）を服用していただきます。（下剤の種類で服用方法が異なる場合もあります）排泄物がほぼなくなるまできれいにする必要があります。おおよそ5回から6回の排泄で腸はきれいになります。この時、気分の不快感や腹痛、嘔吐などの症状があれば、無理せず服用を中止して医療機関へご連絡ください。

6 来院

来院されてから検査着に着替えていただきます。お尻側に穴のあいたパンツを履きます。

7 検査前

検査台の上に横になります。腸管の動きを抑える注射をします。必要に応じて鎮静剤を注射します。鎮静剤によりウトウト眠ったような状態になります。

8 検査開始

内視鏡を肛門から挿入し盲腸まで観察します。通常15分程度ですが、ポリープ切除などの処置が必要な場合には30分程度かかることもあります。



9 検査終了

ポリープ切除された方や鎮静剤を使用した方は、30分から1時間程度の安静が必要です。

10 結果説明

診察室で検査結果の説明を受けて終了となります。病理組織結果は後日説明いたします。(約2週間後)

鎮静剤を使用した方は、帰宅の際、ご自身での車の運転は危険なので禁止しています。

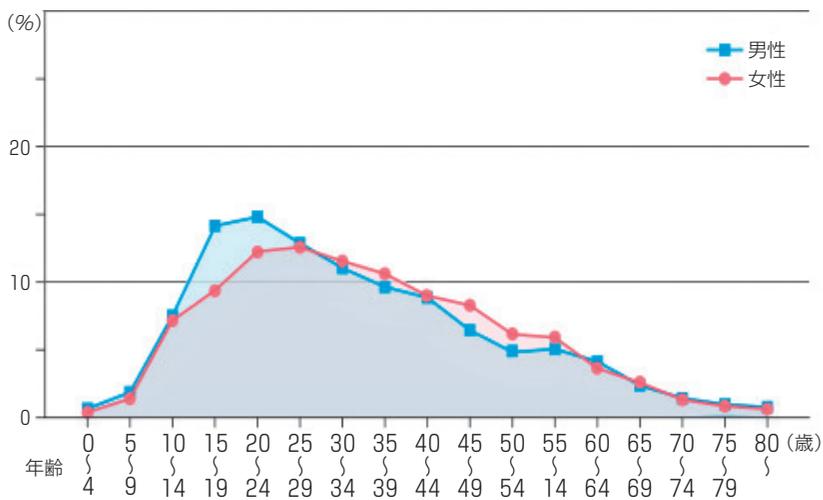
検査を受ける頻度は？

大腸がんやポリープの治療を受けた方は、治療後は毎年、少なくとも2～3年毎に大腸カメラを行い経過観察されることをお勧めします。検査を受けて異常が無かった場合にも、毎年の健康診断で便潜血検査を受けてください。陽性となった場合には、必ず大腸カメラを受けましょう。以前大腸ポリープ切除治療を受け、3年以上大腸カメラを受けていないようでしたら、そろそろ次の検査を受けるタイミングです。

他にどんな病気が見つかるの？

大腸にはがんやポリープ以外の病気もあります。大腸カメラで見つかる病気には大腸憩室症、虚血性腸炎、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病など)などがあり、症状があることも多くあります。患者数が年々増加し続けている潰瘍性大腸炎では、下痢や血便、腹痛、発熱などの症状があります。この病気は20～30歳の若い世代に発症が多く、10代の中・高校生でも発症することがあります。この病気は発病後10年以上経過すると発がんリスクが高くなることが知られています。このため適切な治療を受け、定期的な検査が必要です。このように、若い方でも大腸カメラが必要なこともあります。

潰瘍性大腸炎の推定発症年齢



難病情報センター：潰瘍性大腸炎 (http://www.nanbyou.or.jp/entry/62) より

大腸カメラに対する注意点

病気の早期発見に検査が必要であることをお話してきましたが、大腸カメラは体にある程度の負担がかかる検査です。実はかなり高齢の方や体力が低下している方には、積極的に検査を勧められないこともあります。自宅での下剤服用中に具合が悪くなることもあるので、まずはご家族に見守りをお願いし、自宅ではなく医療機関にて下剤を服用していただくこともあります。また、体調や状況によって検査入院をお勧めすることもあります。

おわりに

検査を受けることが大切だとわかっていても、病気が見つかることが不安でなかなか受診できない方もいらっしゃるでしょう。しかし、検査を受けて異常がないとわかれば何よりも安心が得られるはず。もしも病気が見つければ、すぐに治療に向けて準備できます。早ければ早いほど治療率は高まりますので、是非検査を積極的に受けてください。

ハードルの高い大腸カメラですが、検査を受けやすい環境を整え、ファイバースコープの改良で、検査の苦痛をなるべく減らし、下剤や鎮静剤を使用して安心して大腸カメラを受けていただけるよう、私たちは日々努力をしております。

(相模原市医師会 美原 静香)

こころの健康に役立つサイト

知ることからはじめよう
みんなのメンタルヘルス
総合サイト

こころの健康や病気、支援やサービスに関するウェブサイト (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/kokoro/index.html>

あなたの“生きる”を応援するサイト

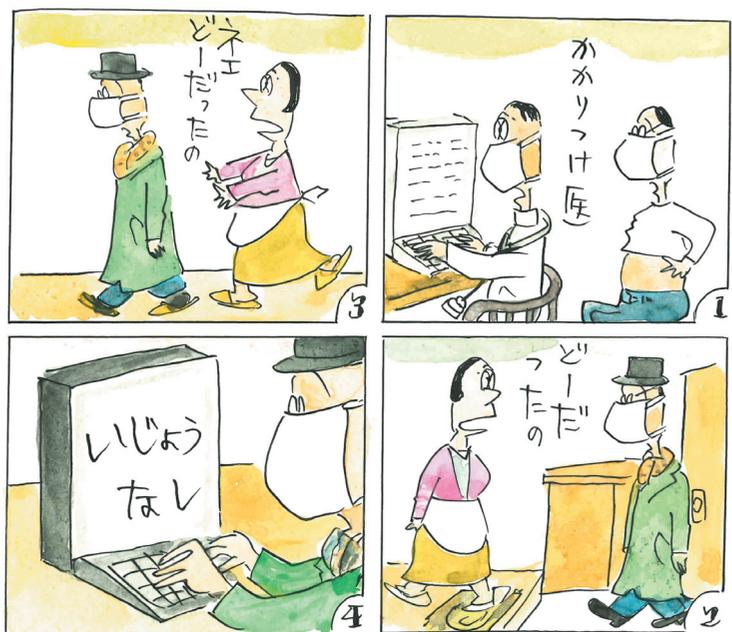
自殺対策の啓発や相談窓口、自殺の危険を示すサインに気付き適切に対処する「ゲートキーパー(命の門番)」の役割等、自殺対策に関連する情報提供のための特設サイト「リブちゃんネル(市自殺対策ホームページ)」を開設しています。



～所得税・市県民税確定申告に向けて～ 障害者控除対象者認定書の申請を

- 障害者控除について 65歳以上の要介護認定者や扶養親族などは、要介護認定者本人の身体などの状況により、障害者控除の対象になる場合があります。同控除を受けるためには、障害者控除対象者認定書(※)が必要ですので、申請してください。
※障害者手帳などを持っていない65歳以上で、市町村長等が「知的障害者又は身体障害者に準ずる」として認定した人に交付するもの。障害者控除を受けるために使用するもので、障害者向けのサービスが受けられるものではありません。
- 対象 市内在住で次の全てに該当する人
 - 認定を受けたい年の12月31日時点で、65歳以上
 - 身体の障害や寝たきり、認知症により日常生活に支障がある(基準あり)
 - 特別障害者控除の対象となる身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳の交付を受けていない
 - 原子爆弾被爆者の認定を受けていない
 - 本人かその扶養者が所得控除を受けられる
 ※障害者・特別障害者控除の対象区分などについては、お問い合わせください。
- 申請 各高齢・障害者相談課、各保健福祉課にある申請書(市ホームページにも掲載)を、管轄する窓口へ
※申請から認定まで2週間程度かかります。その後「障害者控除対象者認定書」を郵送で申請者へ通知します。
※認定書が届いただけでは、障害者控除は適用されていません。送付された「障害者控除対象者認定書」をお持ちになって、必ず税金の申告をしてください。

窓口・問い合わせ		城山保健福祉課	☎042-783-8136
緑高齢・障害者相談課	☎042-775-8812	津久井保健福祉課	☎042-780-1408
中央高齢・障害者相談課	☎042-769-8349	相模湖保健福祉課	☎042-684-3216
南高齢・障害者相談課	☎042-701-7704	藤野保健福祉課	☎042-687-5511



れんご
pipipi横丁
つくり時代
の巻
秘竜山